

予 算 特 別 委 員 会 記 録

1. 日 時 令和7年12月4日(木)

午後 2時14分 開 会

午後 2時42分 閉 会

2. 場 所 白 鷹 町 役 場 議 場

3. 議 題 (1) 議第70号 令和7年度白鷹町一般会計補正予算(第3号)について

(2) 議第71号 令和7年度白鷹町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

(3) 議第72号 令和7年度白鷹町水道事業会計補正予算(第2号)について

○出席委員(11名)

2番	衣 袋 正 人 委員	3番	横 山 和 浩 委員
4番	竹 田 雅 彦 委員	5番	佐々木 誠 司 委員
6番	丸 川 雅 春 委員	7番	金 田 悟 委員
8番	笹 原 俊 一 委員	9番	山 田 仁 委員
10番	関 千鶴子 委員	11番	今 野 正 明 委員
12番	遠 藤 幸 一 委員		

○欠席委員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長職務代理者	田 宮 修
副 町 長	
教 育 長	迎 田 浩 昭
総 務 課 長	長 岡 聡
税務出納課長	吉 村 秀 昭
企画政策課長	加 藤 和 芳
町 民 課 長	橋 本 達 也
健康福祉課長	永 沢 照 美
商工観光課長	黒 澤 和 幸

農政課長併 農業委員会事務局長	橋	本	秀	和
林政課参与 (兼)課長	永	野		徹
建設課長	菊	地		智
上下水道課長	高	橋	浩	之
病院事務局長	片	山	正	弘
教育次長	川	部	茂	樹
監査委員	小	谷	部	仁
総務課長補佐 兼財政係長	鈴	木	秀	昭
総務課長補佐 兼総務係長	梅	津	友	宏

○職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	小	林		裕
補佐	大	瀧	勇	祐
書記	竹	田	雅紀子	

○開会の宣告

○委員長（遠藤幸一） ご参集、ご苦労さまです。

これより予算特別委員会を開会いたします。

出席委員は全員であります。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日開催の第 6 回白鷹町議会定例会本会議において、本委員会に付託された令和 7 年度白鷹町一般会計補正予算（第 3 号）外 2 件の補正予算について審査を行います。

審査の方法は、配付の補正予算審査文書表のとおり、一般会計から順に、令和 7 年度補正予算説明書の概要により説明を受け、一問一答形式で審査を行った後、議案番号順にそれぞれ採決したいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） ご異議がないので、そのように進めることに決しました。

なお、質問される方、答弁なさる方は、簡潔明瞭にされるよう申し添えます。

また、質問される方はページを示していただきたいと存じます。

○議第 7 0 号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） それでは、議第 70 号 令和 7 年度白鷹町一般会計補正予算（第 3 号）についてを議題とします。

初めに、補正予算説明書の概要について説明を求めます。長岡総務課長。

○総務課長（長岡 聡） ご説明申し上げます。

令和 7 年度補正予算説明書の概要、2 ページをご覧ください。

初めに、一般会計の概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、保育園運営委託料の改定をはじめとした福祉関連施策や住宅関連施策への対応のほか、深刻化する熊対策の強化や D X のさらなる推進など、緊急性の高い事業について対応したものでございます。

そのほか次年度に向けた債務負担行為の設定を行いました。

歳入でございます。

款、補正額、主な内容をご説明申し上げます。

14 款国庫支出金、3,151 万円、子どものための教育・保育給付費負担金 2,971 万 2,000 円などでございます。

15 款県支出金、1,411 万 6,000 円、福祉医療給付事業 55 万円、子どものための教育・保育給付費負担金 1,168 万 6,000 円などでございます。

18 款繰入金、700 万円、公共施設整備基金繰入金でございます。

19款繰越金、4,198万3,000円。

20款諸収入、29万1,000円、後期高齢者健康診査委託料でございます。

21款町債、3,660万円、過疎対策事業債3,480万円、緊急防災減災事業180万円。

歳入合計、1億3,150万円。

続きまして、歳出でございます。

共通事項といたしまして、人件費66万8,000円を計上するものです。

3ページをご覧ください。款別の概要を申し上げます。

2款総務費、704万4,000円、説明欄の4番目の丸、デジタル推進事業121万9,000円、議事録作成支援システム利用料等への対応などでございます。

3款民生費、6,594万9,000円、介護保険特別会計繰出金265万5,000円、税制改正に伴うシステム改修等への対応でございます。

以下の項目につきましては、執行状況や事業実績に基づく調整でございます。

4ページをご覧ください。

4款衛生費、347万9,000円、子ども家庭センター運営費149万円、相談機能の充実及び託児環境整備への対応などでございます。

6款農林水産業費、176万1,000円、2番目の丸をご覧ください。有害鳥獣対策事業費52万円、有害鳥獣対策の強化を行うための対応などでございます。

7款商工費、314万9,000円、2番目の丸、ふるさと森林公園管理事業150万円、同公園の設備機能回復等への対応などでございます。

5ページをご覧ください。

8款土木費、3,215万円、2番目の丸、子育て支援及び若者定住促進住宅整備事業3,000万円、実施設計を踏まえた熱源設備等整備への追加対応などでございます。

9款消防費、254万8,000円、2番目の丸でございます。消防用施設等整備事業187万円、実施設計を踏まえた本工事への追加対応などでございます。

10款教育費、1,162万円、事務局費100万円、白鷹高等専修学校支援への追加対応でございます。1つ飛びまして小学校管理費212万1,000円、有害鳥獣対策の強化、施設補修を行うための対応でございます。その下、中学校管理費30万円、有害鳥獣対策の強化への対応でございます。

6ページをご覧ください。

11款災害復旧費、380万円、農地災害復旧事業費380万円、施設の環境整備を行うための対応でございます。

歳出合計、1億3,150万円。

以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 質問させていただきます。全て歳出からお伺いいたします。

3款民生費に関して最初にお伺いいたします。概要の3ページをお開きください。概要3ページ、3款民生費、5番目でしょうか、一番下の丸の一時預かり事業として543万円が減額となっております。これは補助額が減るということだと思えるのですが、この影響について保育施設からどのように聞いておられるのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） 一時預かり事業でございますけれども、保護者の方が仕事や病気などで一時的に保育できないときや、育児疲れを解消したいときなどにお子さんをお預かりする制度になります。保育園・こども園に入所していないお子さんがこの一時預かりを利用する場合、国の補助単価が利用人数に応じて今回細分化されたため、町内の保育施設では減額となるものでございます。

保育園・こども園で補助金が減額となる部分につきましては、一時預かり事業に影響が出ないように、勤務時間等を工夫して対応していくと伺っておるところでございます。以上です。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。ご尽力に感謝したいと思うところでございます。

続きまして、同じく3款民生費ですけれども、予算書をお開きください。予算書の10ページでございます。10ページの児童福祉費の児童福祉総務費、負担金の中に性被害防止対策に係る設備等支援事業費補助金15万円とございます。これは以前にもこのものがあったと思うのですが、希望された事業者には全て設置になっているのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） こちらの事業につきましては、放課後児童クラブ等における性被害防止対策に係る設備等支援で、国の補助事業を活用して実施するものでございます。園児のプライバシー保護のためにパーティションとロールカーテン等の購入補助を行うものでございます。

昨年度は、保育園等につきまして事業を実施したところでございますけれども、令和6年度につきましては4園と、1つの放課後等児童クラブ、令和7年度、今年度につきましては、1か所の放課後児童クラブ、あとは子育て支援センターについて希望が出されておるところでございます。現在希望されているところについては、この事業で対応されていると認識しておるところでございます。以上です。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。希望に全て応えられているということで理解いたしました。

続きまして、10款教育費に関してお伺いいたします。

概要の5ページをお開きください。概要の5ページ、一番下の丸でございます。調理場設備整備事業370万3,000円ということでございます。調理場の修繕だということでありすけれども、修繕に至った経緯とか、そういったものがあればお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

今年8月に県の検査がございまして、その中で指摘のありました調理室内の換気扇の改修などにつきまして、修繕工事を行うために増額させていただきたいと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。指摘を受けたところがあまり多くなかったのか、結構多かったのか。それで、今回の修繕で全て担えるというものなのか、お伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

指摘のあった改善箇所につきましては、20か所ぐらい該当ございましたが、それらにつきましては、9月の補正で対応させていただきましたり、今回の12月で対応させていただいたり、それから大規模なものにつきましては、来年度の当初予算にて計上して対応させていただきたいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

続きまして、同じく教育費の社会教育費に関連してお伺いいたします。概要ではなく予算書をお開きください。予算書の16ページ、文化財保護対策費として委託料に絵画収納箱作成業務24万2,000円ということでございます。こちらについて概要をお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

画家であります別府忠雄様より寄贈いただきました絵画25点の専用収納箱を作成するため、作成業務を委託するものでございます。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。設置場所はどこになるのかということと、絵画でございますので湿度、温度、そういったものの適切な管理は行えるのか、お伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） 答えをいたします。

別府忠雄様より寄贈いただいた絵画25点につきましては、空調設備が整っております

歴史民俗資料館あゆみしるの保管倉庫内に絵画ラックを増設いたしまして保管したいと考えているところでございます。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。

今の関連でお伺いしたいのですけれども、絵画、美術品の収納ということで歴史民俗資料館あゆみしるに保管ということでありました。こういったものを寄贈いただいたときの保管場所が、余裕が現状あるのか、それともあまりなくなっているのか、そのあたりについて認識をお伺いしたいと思います。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

絵画の保管状況につきましては、文化交流センターあゆむ、歴史民俗資料館あゆみしる、いずれの保管倉庫におきましても、ほぼ空きスペースがない状況となっております。

また、歴史民俗資料館あゆみしるの民具の保管状況につきましては、若干の空きスペースはあるものの、年々、スペースが少なくなっている状況でございます。

○委員長（遠藤幸一） 横山委員。

○3番（横山和浩） 分かりました。余裕がないということになると新たな寄贈を受けにくくなると思いますので、検討いただければと思います。

あと、同じく関連でお伺いしたいのですけれども、寄贈の申出があった場合に、これを受けるかどうかというのは、これは当然ながら判断があらうかと思います。現在、町でこういう寄贈品を受けるに当たって、どうするという要綱のようなものはなかったのではないかと思いますし、その対応についても明確にされていないのではないかと認識しております。地域の識見者のお話を聞きながら判断するとか、最終的な処分方法ですか、何年たったらどうするとかいうものも定めた上で受け取りなんかしないと、後々、困る可能性も出てくるのかなと思います。そういった意味で、受入れに関しての一定のルールというか、事を決めていくこと、今後、お考えになるかどうか、お伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） お答えいたします。

寄附の受入れに当たりましては現在、学芸員等の有識者からご意見をいただきながら、質や価値を重視して選び抜いたものを受け入れてまいっているところでございますけれども、今後、増える可能性もございますので、ルールづくりなども今後、検討をしながら対応してまいりたいと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 1点だけお伺いいたします。

概要書の５ページ、教育費の事務局費の中の白鷹高等専修学校の支援、いわゆる補助金として100万円ということですが、どういう性質の補助金で、これに伴って学校がどのような効果が期待できるのかお伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） 現在、町から白鷹高等専修学校への補助金を交付いたしまして運営の支援をさせていただいているところでございます。しかし、昨今の価格等の影響によりまして、白鷹高等専修学校の運営に係る費用の支出額が当初の想定よりも上回っている状況であることから、今回町からの補助金額を増額いたしまして、円滑な学校運営のための支援をさせていただきたいと考えております。

○委員長（遠藤幸一） 竹田委員。

○４番（竹田雅彦） 町内にとっても非常に貴重な教育機関の一つでございますので、しかるべき対応を今後も取っていただきたいと思います。この補助金に関しては町単独なのか、それとも置賜の３市５町からもある程度の補助金を計上していただいているのかをお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） 白鷹高等専修学校への補助金につきましては、町からの補助金のほか、法令外負担金、それから県からの補助金なども活用してございます。

○委員長（遠藤幸一） 竹田委員。

○４番（竹田雅彦） 今回の補助金100万円は町単独なのか、それともまたほかにも３市５町の中で、今回の例えば12月議会の中で補正を組んで補正予算を計上しているのかどうかの情報があるのかどうかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 川部教育次長。

○教育次長（川部茂樹） このたびの補正につきましては、町単独の補助金の計上となっております。

○委員長（遠藤幸一） ほかに。債務負担行為補正等でもございせんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑終結と認めます。

次に移ります。

○議第７１号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 議第71号 令和７年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第２号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） ご説明申し上げます。

令和７年度補正予算説明書の概要７ページをご覧ください。

介護保険特別会計の概要でございますが、歳入歳出それぞれ616万3,000円の補正を行うものであります。

概要及び説明につきましては、税制改正に伴うシステム改修対応、高額介護サービス費の実績見込みを踏まえた調整等を行うものでございます。以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

歳入歳出一括して質疑を行います。3番、横山委員。

○3番（横山和浩） 1点お伺いをいたします。概要ではなく予算書の5ページでございますが、一般介護予防事業費の中に調査委託料として33万円ございます。こちらは何の調査なのか、そして、この調査結果をどのように生かすのか、お伺いをいたします。

○委員長（遠藤幸一） 永沢健康福祉課長。

○健康福祉課長（永沢照美） お答えいたします。

来年度は介護保険事業計画の策定年度になっております。計画策定のニーズ調査については当初予算に計上しておりますけれども、町全体の分析に加えて町内6地区、それぞれの健康課題及び地域課題等の分析を追加で委託させていただきたいと思うものでございます。

この分析結果につきましては、介護保険事業計画策定のときに活用したいと考えております。以上です。

○委員長（遠藤幸一） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑終結と認めます。

○議第72号の説明、質疑

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第72号 令和7年度白鷹町水道事業会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

補正予算説明書の概要について説明を求めます。高橋上下水道課長。

○上下水道課長（高橋浩之） ご説明申し上げます。

概要の7ページをご覧ください。水道事業会計でございます。

補正額概要についてご説明申し上げます。

初めに、収益的支出2,647万1,000円、薬品費及び修繕費の追加対応でございます。

資本的収入1,160万円、ふるさと森林公園整備関連事業等の財源調整でございます。

資本的支出6,959万円の減額、ふるさと森林公園整備関連事業等の建設改良費の調整でございます。以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 説明が終わりました。

収益的支出、資本的収支、一括して質疑を行います。4番、竹田委員。

○4番（竹田雅彦） 1点だけお伺いいたします。

ふるさと森林公園の整備関連事業に関するものでございますが、先日、ふるさと森林公園再整備の特別委員会の中でご説明のあったところで、今回のこの補正に関しては詳細設計費のための補正ということでございますが、実際の上下水道管の布設工事は来年5月から再来年の10月まで、およそ1年半ほどの期間を考えていらっしゃるということでした。

整備図を見せていただくと、布設工事のところがほぼパレス松風に行くところの道路上に重なっているところでございますけれども、1年半をかけてこの工事をしていただくということでございますが、その際、道路に伴っての布設工事ということでございますからそれなりに工事の段階で利用者にとって、例えばこの1年半、ずっとどこかの箇所片側交互通行をしなければいけないとか、そういった利用者にとっての影響はどのようなものがあるのかお伺いいたします。

○委員長（遠藤幸一） 高橋上下水道課長。

○上下水道課長（高橋浩之） お答えいたします。

下水道及び水道管は、町道菖蒲萩野線及び森林公園線に布設いたします。水道管は、主要地方道山形白鷹線にも布設することとなっております。工事は徐々に進めてまいりたいと考えます。

工事箇所の前後においては片側交互通行とさせていただくような対応を考えてございます。以上でございます。

○委員長（遠藤幸一） 竹田委員。

○4番（竹田雅彦） やはり1年半という非常に長い期間、どこかの箇所で工事をするということでございますので、できるだけ利用者への影響が少しでも少なくなるようにご期待をいたします。以上です。

○委員長（遠藤幸一） ほかにございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） 質疑終結と認めます。

以上で質疑を終了いたします。

○議第70号の採決

○委員長（遠藤幸一） これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。なお、起立されない方は否決とみなします。

初めに、議第70号 令和7年度白鷹町一般会計補正予算（第3号）について採決を行います。

議第70号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しま

した。

○議第 7 1 号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第71号 令和7年度白鷹町介護保険特別会計補正予算（第2号）について採決いたします。

議第71号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議第 7 2 号の採決

○委員長（遠藤幸一） 次に、議第72号 令和7年度白鷹町水道事業会計補正予算（第2号）について採決を行います。

議第72号について、原案のとおり可決すべきものとするに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（遠藤幸一） 全員起立。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○委員長（遠藤幸一） 以上で、本予算特別委員会に付託された補正予算3件の審査が終了いたしました。

なお、委員会審査結果報告については委員長に一任いただきたいと存じますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（遠藤幸一） ご異議がないので、審査結果報告は委員長に一任されることに決しました。

○閉会の宣告

○委員長（遠藤幸一） これをもって予算特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉 会

〈午後2時42分〉